

平成 29 年 6 月 28 日

富国生命保険相互会社
明治安田システム・テクノロジー株式会社

給付金等支払査定に「医療査定なび」「先進医療なび」を導入

富国生命保険相互会社（社長：米山好映、本社：東京都千代田区、以下富国生命）は、明治安田システム・テクノロジー株式会社（社長：徳岡浩、本社：東京都江東区）より、給付金等の支払査定業務に「医療査定なび」（医療査定支援システム）^{※1}および「先進医療なび」（先進医療情報照会システム）を平成 29 年 7 月 3 日に導入します。

今回導入の「医療査定なび」とは、ICD^{※2}コードや医科診療報酬コード等の公的コードに紐づいた疾病・手術情報のデータベースを有しており、個社独自の情報と紐付け、給付金等の支払査定に活用することで支払査定時の効率化・精度の向上が図れるものです。

将来的には、富国生命では、現在支払査定業務に使用している「診断書査定自動コード化システム」^{※3}と「医療査定なび」を組み合わせることで、給付金等支払査定事務の効率化・精度の向上を図ります。

また、先進医療給付も「先進医療なび」で提供される精度の高い情報を元に支払可否の判断をシステム化する予定です。

支払査定は、幅広い医務知識、査定知識および商品・約款知識が必要とされますが、本システム化により、効率的で精度の高い支払査定業務を実現し、当業務に係る負担を 10%程度軽減できると見込んでおります。

本システムの導入により将来的に以下を実現予定です。

- 査定情報等の共有による支払査定者の育成および支払査定業務の均質化
- お客さまからの支払可否照会について、迅速な回答を実現（平均 1 日→即日に短縮）

富国生命は今後も給付金等支払査定業務の精度向上・効率化および迅速化を図ることで、さらなるお客さまサービスの向上に努めます。

- ※1 「医療査定なび」は明治安田システム・テクノロジー(株)の登録商標です。保険会社・共済団体 12 社の導入実績があります。フコク生命グループの「フコクしんらい生命保険株式会社」も「医療査定なび」「先進医療なび」を平成 28 年 5 月より導入しています。
- ※2 ICD とは世界保健機関（WHO）によって公表されている疾病および関連保健問題の国際統計分類です。
- ※3 請求時に提出された診断書等に記載された傷病名、手術名を正しく認識して該当する富国生命独自のコードを提示する工程を平成 29 年 1 月より「IBM Watson Explorer」で実施しています。

以上